

斐伊川総合水系環境整備事業

河川事業の再評価項目調査書

事業名(箇所名)	ひいかわ 斐伊川総合水系環境整備事業		
実施箇所	斐伊川直轄管理区間		
当該基準	・社会情勢の急激な変化、技術革新等により再評価の実施の必要性が生じた事業 (1箇所の追加)		
事業諸元	<p>【水辺整備】</p> <p>① 夕日ヶ丘箇所水辺整備 2016年度(平成28年度)～2023年度(令和5年度)予定 (国)親水護岸、河川管理用通路</p> <p>② 米子港箇所水辺整備 2020年度(令和2年度)～2028年度(令和10年度)予定 (国)親水護岸 (県)棧橋、(市)遊覧船発着場</p> <p>③ 木次箇所水辺整備 2020年度(令和2年度)～2028年度(令和10年度)予定 (国)河川管理用通路、高水敷整正 (市)案内サイン・ベンチ等の設置</p> <p>④ 松江市役所前箇所水辺整備 2021年度(令和3年度)～2029年度(令和11年度)予定 (国)親水護岸、河川管理用通路 (市)公園整備</p> <p>【水環境】</p> <p>⑤ 中海・宍道湖水環境整備 2004年度(平成16年度)～2029年度(令和11年度)予定 (国)浅場整備、覆砂</p>		
事業期間	2004年度(平成16年度)～2029年度(令和11年度)		
総事業費	192.8億円(うち国整備186.6億円、 市・県整備6.2億円)	残事業費	38.2億円(うち国整備32.8億円、 市・県整備5.4億円)
目的・必要性	<p>斐伊川流域は、島根、鳥取両県にまたがり、松江市、出雲市、米子市他の7市2町からなり、流域には、出雲空港、米子空港や境港、山陽と山陰及び東西を結ぶ陸上主要交通網が存在し、交通の要衝となっている。</p> <p>全国的にもまれな連結汽水湖である宍道湖及び中海はラムサール条約の登録湿地であり、西日本有数の水鳥の飛来地となっているほか、斐伊川本川、神戸川にも豊かで多様な動植物が息つき良好な景観が形成される等、自然環境が多く存在している。</p> <p>河川空間の利用については、河川敷の一部が運動広場、河川公園等として整備され、散策やレクリエーション、自然学習等様々な目的で利用されており、宍道湖及び中海では、広大な水面を活かしたレガッタ、釣り等の水面利用及び、バードウォッチング等の自然観察・散策が盛んである。</p> <p>【水辺整備】 《夕日ヶ丘箇所水辺整備》 境港市夕日ヶ丘地区周辺には、公園やスポーツ広場などのスポーツ・レクリエーション施設が多く、また中海ではボートやカヌーなどの水上スポーツも楽しむことができるが、水際に老朽化した直立護岸があるため、水辺に近づきにくくなっている。このため、水辺利用者が安全に水辺空間を利用し、周辺の公園等と一体となった水辺の利用ができるような親水護岸、河川管理用通路を整備する。</p> <p>《米子港箇所水辺整備》 中海は、優れた景観を有し、レガッタなどの水上スポーツや、城下町・米子城跡を</p>		

	<p>巡る加茂川遊覧船の周遊など、さまざまな取組・活動の場となっており、さらに、他エリアで活動するカヌー団体が中海での活動を予定しているなど、賑わいの気運が高まっている。</p> <p>一方で、米子港周辺で実施されている観光、文化・歴史、スポーツ、環境等に係る各種取組は、盛んな活動を行いつつも、それぞれ単独で実施されている現状があり、米子港はそれら各種取組の結節点に位置するが、敷地の有効な活用がされておらず、その湖岸は直立しているためカヌーなどの一般的な利用がしづらい状況であるため、水面に近づきやすい親水護岸を整備する。</p> <p>《木次箇所水辺整備》 木次箇所は、中心市街地の中央に位置し、斐伊川の清流や日本さくら名所百選にも認定された斐伊川堤防桜並木など、美しい自然環境を有しており、隣接する商業エリアへの来街者や近隣住民が、川に親しみ心を癒す空間として利用されている。</p> <p>一方で、木次駅周辺の商業エリアと河川敷を活用して開催されているイベント（まめなカー市など）は、規模が大きくなるにつれ既存の施設だけでは、開催に必要な広さの確保が困難な状況となっており、新たな会場となる空間が求められているため、河川管理用通路の整備や高水敷修正を行う。</p> <p>《松江市役所前箇所水辺整備》 松江市役所前箇所は、宍道湖北岸に位置し松江城や松江宍道湖温泉など観光地に近く、宍道湖大橋や嫁ヶ島、島根県立博物館などを望む景観もあり、駅（一畑）にも隣接しているため、多くの観光客や住民などが行き交う場となっている。</p> <p>一方で、水辺周辺においては公園などの段差、安全に遊べる水面が無いなど利用が限られ、イベントの利用、安全な水遊びや環境学習など地域交流の実施がしづらい状況であるため、水辺の親水広場や芝生広場、親水護岸等を整備することで、新たな水辺の賑わいを創出する。</p> <p>【水環境】 《中海・宍道湖水環境整備》 近年においても、宍道湖ではアオコ、中海では赤潮の発生がみられるほか、埋立・干拓等による人工湖岸化や浅場の消失により、透明度の低下や藻場の減少など自然浄化機能が低下した箇所がある。</p> <p>そこで、過去に自然湖岸で良好な浅場を形成していた場を回復し、底質の改善、透明度の向上、生物の生息環境の改善などを目的に浅場整備、覆砂を実施している。</p>																																			
<p>便益の主な根拠</p>	<p>【水辺整備】 《夕日ヶ丘箇所水辺整備》CVM 全体事業：支払意思額(WTP) = 252 円/月/世帯、受益世帯数 14,990 世帯 《米子港箇所水辺整備》CVM 全体事業：支払意思額(WTP) = 327 円/月/世帯、受益世帯数 47,533 世帯 《木次箇所水辺整備》CVM 全体事業：支払意思額(WTP) = 312 円/月/世帯、受益世帯数 4,775 世帯 《松江市役所前箇所水辺整備》CVM 全体事業：支払意思額(WTP) = 303 円/月/世帯、受益世帯数 54,974 世帯</p> <p>【水環境】 《中海・宍道湖水環境整備》CVM 全体事業：支払意思額(WTP) = 312 円/月/世帯、受益世帯数 222,328 世帯</p>																																			
<p>事業全体の投資効率性</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" data-bbox="370 1823 746 1859">基準年度</th> <th colspan="5" data-bbox="753 1823 1445 1859">2020 年度（令和 2 年度）</th> </tr> <tr> <th colspan="2" data-bbox="370 1868 746 1944"></th> <th data-bbox="753 1868 906 1944">B:総便益 (億円)</th> <th data-bbox="912 1868 1066 1944">C:総費用 (億円)</th> <th data-bbox="1072 1868 1187 1944">B/C</th> <th data-bbox="1193 1868 1315 1944">B-C (億円)</th> <th data-bbox="1321 1868 1445 1944">EIRR (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="370 1953 491 1989">全体事業</td> <td data-bbox="497 1953 746 1989">総合水系環境整備事業</td> <td data-bbox="753 1953 906 1989">362.3</td> <td data-bbox="912 1953 1066 1989">279.2</td> <td data-bbox="1072 1953 1187 1989">1.3</td> <td data-bbox="1193 1953 1315 1989">83.0</td> <td data-bbox="1321 1953 1445 1989">5.3</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="497 1998 746 2033">水辺整備</td> <td data-bbox="753 1998 906 2033">87.0</td> <td data-bbox="912 1998 1066 2033">20.8</td> <td data-bbox="1072 1998 1187 2033">4.2</td> <td data-bbox="1193 1998 1315 2033">66.2</td> <td data-bbox="1321 1998 1445 2033">17.6</td> </tr> <tr> <td></td> <td data-bbox="497 2042 746 2078">水環境</td> <td data-bbox="753 2042 906 2078">275.3</td> <td data-bbox="912 2042 1066 2078">258.4</td> <td data-bbox="1072 2042 1187 2078">1.1</td> <td data-bbox="1193 2042 1315 2078">16.9</td> <td data-bbox="1321 2042 1445 2078">4.3</td> </tr> </tbody> </table>	基準年度		2020 年度（令和 2 年度）							B:総便益 (億円)	C:総費用 (億円)	B/C	B-C (億円)	EIRR (%)	全体事業	総合水系環境整備事業	362.3	279.2	1.3	83.0	5.3		水辺整備	87.0	20.8	4.2	66.2	17.6		水環境	275.3	258.4	1.1	16.9	4.3
基準年度		2020 年度（令和 2 年度）																																		
		B:総便益 (億円)	C:総費用 (億円)	B/C	B-C (億円)	EIRR (%)																														
全体事業	総合水系環境整備事業	362.3	279.2	1.3	83.0	5.3																														
	水辺整備	87.0	20.8	4.2	66.2	17.6																														
	水環境	275.3	258.4	1.1	16.9	4.3																														

【様式-1】

	残事業	総合水系環境整備事業	89.8	33.9	2.7	55.9	11.7
		水辺整備	70.8	17.7	4.0	53.2	16.8
		水環境	19.0	16.2	1.2	2.8	5.0
感度分析			残事業 (B/C)		全体事業 (B/C)		
	残事業費 (+10%~-10%)		2.4~2.9		1.3~1.3		
	残工期 (+10%~-10%)		2.6~2.7		1.3~1.3		
	便益 (+10%~-10%)		2.9~2.4		1.4~1.2		
事業の効果等	<p>【水辺整備】</p> <p>《夕日ヶ丘箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親水護岸や河川管理用通路の整備を行うことにより、水辺に近づきやすくなり、公園等と一体となった水辺の利用ができるようになる。 ・また、河川管理用通路の整備により、効率的な河川管理が図られる。 <p>《米子港箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親水護岸の整備により水面に近づきやすくなり、ポート・カヌーなどのスポーツやイベント等で水面利用がしやすくなる。 <p>《木次箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川管理用通路等の整備により、堤防や河川敷を容易に移動でき、桜並木と一体となり回遊性が生まれる。 ・広場の整備により、交流の拠点となる多目的な利用ができ、賑わいが創出される。 <p>《松江市役所前箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芝生広場や河川管理通路、親水護岸、親水広場（入江）の整備により、水辺で散策、イベント、休憩のほか、安全に水に親しむことができるようになる。 ・水辺とまちを結ぶ地域の交流拠点となり、まちの魅力向上につながる。 <p>【水環境】</p> <p>《中海・宍道湖水環境整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅場整備により、土砂の流出を防止する突堤・消波工設置、土砂を投入により浅場を造成し、消波工や浅場により、波を減衰させることで、湖岸域の透明度の向上を図るとともに、自然浄化機能の向上を図る。 ・覆砂により、土砂を湖底に投入し、栄養塩（窒素・りん）の溶出抑制と泥の巻き上げ抑制による透明度の向上を図る。 						
社会情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・事業箇所周辺の松江市、出雲市、安来市、雲南市、米子市、境港市等の人口・世帯数に大きな変化はみられない。 ・松江市役所前箇所では、平成 30 年度には「ミズベリング松江協議会」を設置し、「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」を作成し、令和 2 年 3 月に登録を行った。 						
事業の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・水環境整備は、中海・宍道湖において実施している。 ・水辺整備は、夕日ヶ丘箇所、米子港箇所、木次箇所の水辺整備を実施しており、新たに松江市役所前箇所の整備を予定している。 						
事業の進捗の見込み	<p>【水辺整備】</p> <p>《夕日ヶ丘箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親水護岸、河川管理用通路の整備が完了しており、利用状況等のモニタリングを実施している。 <p>《米子港箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米子市から申請された「中海・錦海かわまちづくり計画（平成 31 年 3 月登録）」に基づき、県、市と協力して地域と連携した川づくりを進めている。国土交通省施工部分は令和 2 年度より着手しており、今後の事業進捗を図る上で、支障は確認さ 						

	<p>れていない。</p> <p>《木次箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雲南市から申請された「木次地区斐伊川かわまちづくり計画(平成31年3月登録)」に基づき、市と協力して地域と連携した川づくりを進めている。国土交通省施工部分は令和2年度より着手しており、今後の事業進捗を図る上で、支障は確認されていない。 <p>《松江市役所前箇所水辺整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松江市から申請された「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画(令和2年3月登録)」により事業を進めていく予定であり、今後の事業進捗を図る上で、支障は確認されていない。 <p>【水環境】</p> <p>《中海・宍道湖水環境整備》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・浅場整備、覆砂の施工とあわせて、現地の状況や効果についてモニタリングを実施している。
コスト縮減や代替案立案の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・中海・宍道湖水環境整備は、斐伊川の維持掘削で発生する土砂等の建設発生土を浅場整備、覆砂材料として利用し、コスト縮減を行った。 ・水辺整備にあたっては、除草作業や清掃など地域住民との協力体制を確立することによりコストの縮減に努める。
対応方針(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継続
対応方針理由	<ul style="list-style-type: none"> ・以上より、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、事業継続が妥当である。 ・今後の事業の実施にあたっては、引き続き地域住民等と協力するとともに、コスト縮減に取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。
その他	—

斐伊川総合水系環境整備事業

【事業再評価】

国土交通省 中国地方整備局
令和2年12月18日



国土を**整**え、全力で**備**える
国土交通省
中国地方整備局

1. 今後の対応方針(原案)
2. 再評価の重点化・効率化判定票
3. 斐伊川流域の概要と河川環境に関する目標
4. 斐伊川総合水系環境整備事業(全体)の事業箇所と内容
5. ④松江市役所前箇所水辺整備(新規)
6. ①夕日ヶ丘箇所水辺整備(モニタリング中)
7. ②米子港箇所水辺整備(2019年度評価)
8. ③木次箇所水辺整備(2019年度評価)
9. ⑤中海・宍道湖水環境(2018年度評価)
10. 費用対効果分析結果(総括表)

1. 今後の対応方針(原案)

1. 再評価の視点

①事業の必要性等の視点

1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

- 事業箇所周辺の松江市、出雲市、安来市、雲南市、米子市、境港市等の人口・世帯数に大きな変化はみられない。
- 松江市役所前箇所では、平成30年6月に「ミズベリング松江協議会」を設立し、宍道湖・大橋川かわまちづくり計画を作成し、令和2年3月に「かわまちづくり支援制度」への登録を行った。

2) 事業の投資効果

- 費用便益比 全体事業 (B/C) 1.3 残事業 (B/C) 2.7

3) 事業の進捗状況

- 水辺整備は、夕日ヶ丘箇所、米子港箇所、木次箇所水辺整備を実施しており、新たに松江市役所前箇所の整備を予定している。
- 水環境整備は、中海・宍道湖において実施している。

②事業の進捗の見込みの視点

- 斐伊川では、松江市役所前箇所・夕日ヶ丘箇所・米子港箇所・木次箇所の水辺整備、中海・宍道湖の水環境整備を進めている。
- 《松江市役所前箇所水辺整備》松江市から申請された「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画（令和2年3月登録）」により事業を進めていく予定であり、今後の事業進捗を図る上で、支障は確認されていない。
- 《夕日ヶ丘箇所水辺整備》親水護岸、河川管理用通路の整備が完了しており、利用状況等のモニタリングを実施している。
- 《米子港箇所水辺整備》親水護岸、棧橋（県）、遊覧船発着場（市）等の整備を本年度より順次実施しており、支障は確認されていない。
- 《木次箇所水辺整備》河川管理用通路、高水敷整正、休憩施設等（市）の整備を本年度より順次実施しており、支障は確認されていない。
- 《中海・宍道湖水環境整備》浅場整備、覆砂の施工とあわせて、現地の状況や効果についてモニタリングを実施している。

③コスト縮減や代替案立案の可能性

- 中海・宍道湖水環境整備は、斐伊川の維持掘削で発生する土砂等の建設発生土を浅場整備、覆砂材料として利用し、コスト縮減を行った。
- 水辺整備にあたっては、除草作業や清掃など地域住民との協力体制を確立することによりコストの縮減に努める。

2. 県への意見照会結果

- 鳥取県知事の意見：対応方針（原案）については、異存ありません。
- 島根県知事の意見：対応方針（原案）について、妥当である。

【今後の対応方針（原案）】

- 以上より、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられるため、**事業継続が妥当**である。
- 今後の事業の実施にあたっては、引き続き地域住民等と協力するとともに、コスト縮減に取り組み、効率的かつ効果的な事業の執行に努める。

2. 再評価の重点化・効率化判定票

項目	判定			
	判断根拠	チェック欄		
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
事業の効果や必要性、周辺環境等に変化がない	事業箇所周辺の松江市、出雲市、安来市、雲南市、米子市、境港市等の人口・世帯数に変化はないが、水辺整備で松江市役所前箇所を追加。 【中海・宍道湖水環境整備】 出典：平成27年国勢調査 世帯数 前回：222,328世帯→今回：222,328世帯 変化なし 【夕日ヶ丘箇所水辺整備】 世帯数 前回：14,990世帯→今回：14,990世帯 変化なし 【米子港箇所水辺整備】 世帯数 前回：47,533世帯→今回：47,533世帯 変化なし 【木次箇所水辺整備】 世帯数 前回：4,775世帯→今回：4,775世帯 変化なし 【松江市役所前箇所水辺整備】 世帯数 前回：－ 世帯→今回：54,974世帯	変化なし <input type="checkbox"/>	変化あり <input checked="" type="checkbox"/>	
前回評価からの事業費・事業期間の増加		増加無し	10%以内増加	10%超え
事業費の増加	前回：全体事業費182.4億円→今回：全体事業費192.8億円 5.7%増加	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
事業期間の増加	25ヶ年(2004年度(平成16年度)～2029年度(令和11年度))	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
前回評価からの費用対効果分析に関する影響要因の変化等				
費用便益分析マニュアルに変更がない	前回評価(令和元年)からマニュアルの変更はない	変化なし <input checked="" type="checkbox"/>	変更あり <input type="checkbox"/>	
需要量の変化(需要量等の減少が10%以内)	【中海・宍道湖水環境整備】 世帯数 前回：222,328世帯→今回：222,328世帯 変化なし 【夕日ヶ丘箇所水辺整備】前回 世帯数 前回：14,990世帯→今回：14,990世帯 変化なし 【米子港箇所水辺整備】 世帯数 前回：47,533世帯→今回：47,533世帯 変化なし 【木次箇所水辺整備】 世帯数 前回：4,775世帯→今回：4,775世帯 変化なし 【松江市役所前箇所水辺整備】 世帯数 前回：－ 世帯→今回：54,974世帯	10%以下 <input type="checkbox"/>	10%超え <input checked="" type="checkbox"/>	
下記のうち、一方もしくは両方を満たしている ・事業費に比して費用対効果分析に要する費用が大きい ・前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている	直近3ヶ年の事業費の平均に対する分析費用5.6% > 基準値(1.0%) 前回評価時の感度分析下位ケース 1.1 ≥ 基準値(1.0)	満足している <input checked="" type="checkbox"/>	満足していない <input type="checkbox"/>	
※前回評価(R1) 前回評価で費用対効果分析を省略していない		省略していない <input checked="" type="checkbox"/>	省略している <input type="checkbox"/>	
その他の事由(重点的な評価が必要な特別な事由)	特になし	－		
事業の必要性に変更がある事業である。				

3. 斐伊川流域の概要

- 斐伊川流域は、島根、鳥取両県にまたがり、松江市、出雲市、米子市他の7市2町からなり、流域には、出雲空港、米子空港や境港、山陽と山陰及び東西を結ぶ陸上主要交通網が存在し、交通の要衝となっている。
- 全国的にもまれな連結汽水湖である宍道湖及び中海はラムサール条約の登録湿地であり、西日本有数の水鳥の飛来地となっているほか、斐伊川本川、神戸川にも豊かで多様な動植物が息づき良好な景観が形成される等、自然環境が多く存在している。
- 河川空間の利用については、河川敷の一部が運動広場、河川公園等として整備され、散策やレクリエーション、自然学習等様々な目的で利用されており、宍道湖及び中海では、広大な水面を活かしたレガッタ、釣り等の水面利用及び、バードウォッチング等の自然観察・散策が盛んである。



シジミ漁とコハクチョウの群れ
(宍道湖・斐伊川河口)



イベント利用状況



自然学習(水生生物調査)



流域図



- 【斐伊川水系の諸元】**
- 流域面積 : 2,540km²
 - 幹川流路延長 : 153km
 - 山地面積比率 : 約89%
 - 流域内人口 : 約51万人

※「斐伊川水系河川整備計画【国管理区間】」より

3. 斐伊川の河川環境(水辺整備)に関する目標

○河川環境の整備と保全に関する目標（斐伊川水系河川整備計画（国管理区間）抜粋）

（平成22年9月策定）

○整備の目標

斐伊川水系が生み出す特徴的で良好な河川・湖沼の環境及び景観の保全を図るとともに、多様な動植物が生息・生育・繁殖する豊かな自然環境の保全及び再生を目指します。

斐伊川本川、神戸川の流れのある水面が織りなす潤いと安らぎのある特徴的な水辺景観の保全を図り、豊かで多様な自然環境の再生に努めます。

また、連結汽水湖が生み出す独特な汽水環境の保全・再生を図り、豊かで多様な景観と自然環境の再生を目指すとともに、関係機関と連携を図りつつ、環境基準を満たすように水質改善に努めます。

○河川環境の整備と保全

河川環境のモニタリングとして日常からの河川巡視による監視や河川水辺の国勢調査、その他の環境調査により、情報把握に努めるとともに、必要に応じて動植物の生息・生育・繁殖環境の保全・改善を図ります。

また、河川毎、区間毎の特性、地域のニーズ等を踏まえた良好な河川空間の保全に努めます。

—以下省略—

4. 斐伊川総合水系環境整備事業(全体)の事業箇所と内容

事業の全体延長と事業実施状況

評価区分	分類	河川名	事業名	市	事業年度	事業内容	評価手法	事業費(百万円)	アンケート年度
再評価	水辺整備	中海	① 夕日ヶ丘箇所水辺整備	境港市	2016年度(平成28年度) ~2023年度(令和5年度)予定	(国)親水護岸、河川管理用通路、階段	CVM	162	2016
		中海	② 米子港箇所水辺整備	米子市	2020年度(令和2年度) ~2028年度(令和10年度)予定	(国)親水護岸 (県)棧橋 (市)遊覧船発着場	CVM	812	2019
		斐伊川	③ 木次箇所水辺整備	雲南市	2020年度(令和2年度) ~2028年度(令和10年度)予定	(国)河川管理用通路、高水敷整正 (市)案内サイン・ベンチ等の設置	CVM	139	2019
		大橋川	④ 松江市役所前箇所水辺整備	松江市	2021年度(令和3年度) ~2029年度(令和11年度)予定	(国)親水護岸、河川管理用通路 (市)公園整備	CVM	1,037	2020
	水環境	中海 宍道湖	⑤ 中海・宍道湖水環境整備	米子市、境港市 松江市、出雲市 安来市	2004年度(平成16年度) ~2029年度(令和11年度)予定	(国)浅場整備、覆砂	CVM	17,128	2018

中海・宍道湖水環境整備
(宍道湖の事業量)
全整備延長L=約7.5km
残整備延長L=約1.0km
(中海の事業量)
全整備延長L=約14.4km
残整備延長L=約2.1km

凡例

赤:実施中

緑:計画中

0 5 10km

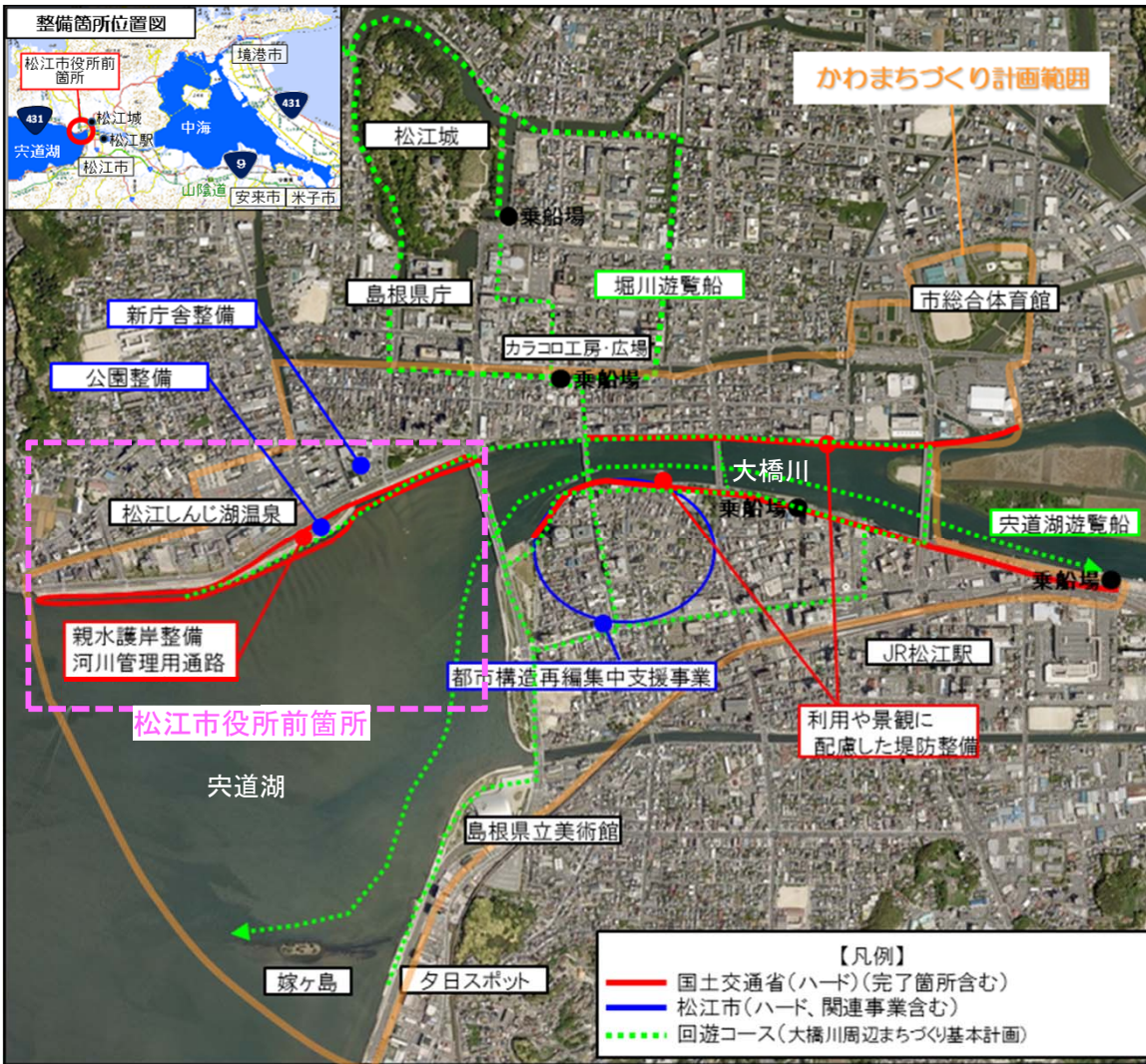


※この背景地図等データは、国土地理院の電子国土Webシステムから配信されたものである。

5. ④松江市役所前箇所水辺整備の経緯と進捗状況

・松江市では、歴史や水辺の観光資源とJR松江駅などをつなぐ動線の確保と魅力向上による「あるきたくなるまち」を目指した取り組みを進めており、平成30年度には「ミズベリング松江協議会」を設置し、「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画」を作成し、令和2年3月に登録された。

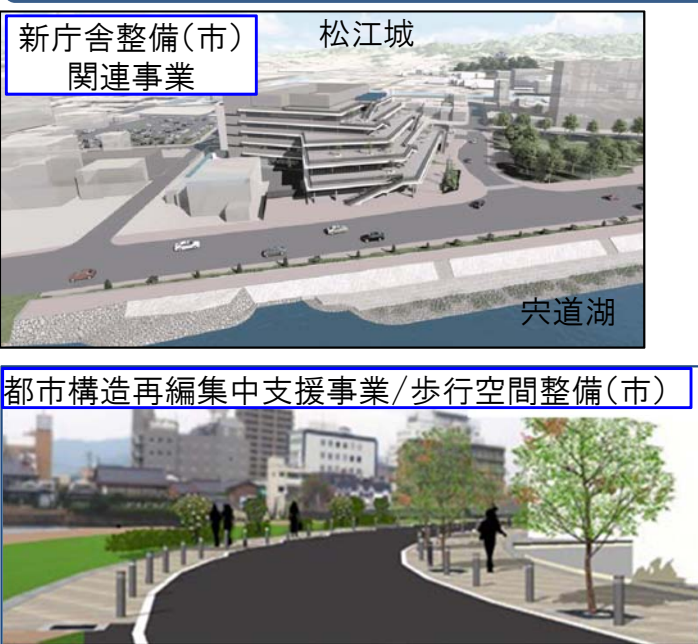
かわまちづくり計画範囲図



イメージ図(松江市役所前箇所)



イメージ図(関連事業)



5. ④松江市役所前箇所水辺整備の現状と課題

- 松江市役所前箇所は、宍道湖北岸に位置し国宝松江城や松江宍道湖温泉など観光地に近く、宍道湖大橋や嫁ヶ島、島根県立美術館などを望む景観もあり、駅（一畑電鉄）にも隣接しているため、観光客の来訪、通勤・通学での利用、ランニング・散策する市民も多い。
- 一方で、水辺周辺においては公園などの段差、安全に遊べる水面が無いなど利用が限られ、イベントの利用、安全な水遊びや環境学習など地域交流の実施がしづらい状況である。



3) 温泉前



安全に水辺に近づき利用がしにくく、水辺を感じることができない。

2) 千鳥南公園



波浪の影響を受けやすいため安全に水辺で遊べない。
堤防との高低差や園路に段差があり利用が限られる。

1) 市役所前



段差があり式典やイベントで利用がしにくい。
車いす、ベビーカーで安全な利用がしにくい。

5. ④松江市役所前箇所水辺整備の整備内容

新規

④松江市役所前箇所水辺整備（2021年度（令和3年度）～2029年度（令和11年度）予定

整備目的：親水広場や芝生広場、親水護岸等を整備し水辺の賑わいやまちあるき動線を創出する

整備内容：（国）親水護岸整備、河川管理用通路など
（市）公園整備

事業進捗の見込み：松江市から申請された「宍道湖・大橋川かわまちづくり計画（令和2年3月登録）」により事業を進めていく予定であり、今後の事業進捗を図る上で、支障は確認されていない。



【整備前】

1) 市役所前



①段差があり式典やイベントで利用がしにくい。
②車いす、ベビーカーで安全な利用がしにくい。

3) 温泉前



⑥安全に水辺に近づき利用がしにくく水辺を感じることができない。

2) 千鳥南公園



③④波浪の影響を受けやすいため安全に水辺で遊べない。
⑤堤防との高低差や園路に段差があり利用が限られる。

【整備後（イメージ）】

1) 市役所前



①段差を無くした親水護岸の整備によりイベント利用ができる。
②通路の整備により車いす、ベビーカーの利用がしやすくなる。



3) 温泉前



⑥親水護岸の整備により水辺に近づき、風食や休憩等ができる。

2) 千鳥南公園

⑥芝生広場の整備によりイベントやスポーツの利用がしやすくなる。



④階段護岸や通路の整備により、安全に水辺を利用できる。



③親水広場（入江）の整備により波浪の影響が緩和し安全に遊べる。



6. ①夕日ヶ丘箇所水辺整備

モニタリング中

ゆうひがおか

①夕日ヶ丘箇所水辺整備（2016年度（平成28年度）～2023年度（令和5年度）予定）

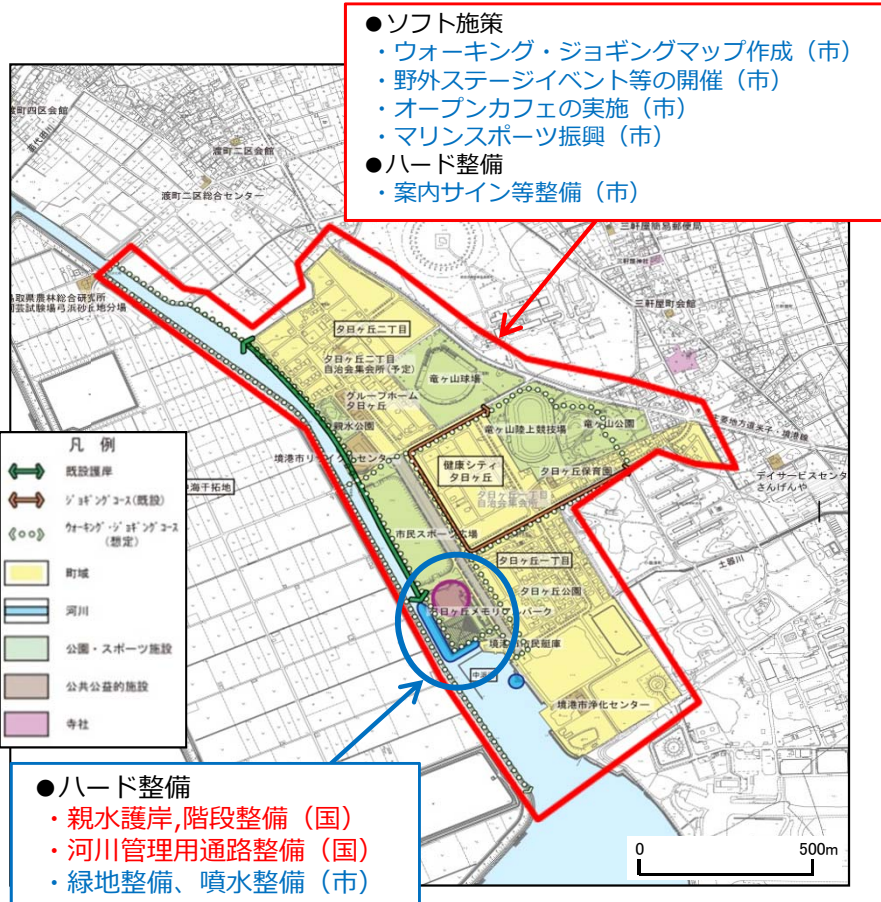
整備目的：自然に親しめる水辺環境の育成を目指し、周辺の公園等と一体となった水辺の利用ができるよう親水護岸や河川管理用通路等の整備を行う。

整備内容：（国）親水護岸、河川管理用通路、階段

事業進捗の見込み：「夕日ヶ丘地区中海かわまちづくり計画（平成28年3月）」に基づき、関係機関等と協力して地域と連携した川づくりを進めている。国土交通省施工部分は整備済みであり、利用状況等のモニタリングを実施している。日常的な清掃などは、市や地元団体等により実施するとともに、地域の交流の場として利用を促進する。



かわまちづくり計画の概要



整備状況



利用状況(公園・親水護岸)



日常管理



中海穴道湖一斉清掃

7. ②米子港箇所水辺整備

2019年度評価

②米子港箇所水辺整備（2020年度（令和2年度）～2028年度（令和10年度）予定）

整備目的：親水護岸や芝生広場等を整備することで、新たな水辺の賑わいを創出する。

整備内容：（国）親水護岸

（県）棧橋、（市）遊覧船発着場

事業進捗の見込み：「中海・錦海かわまちづくり計画（平成31年3月登録）」に基づき、県、市と協力して地域と連携した川づくりを進めている。国土交通省施工部分を令和2年度より設計しており、今後の事業進捗を図る上で、支障は確認されていない。



かわまちづくり計画の概要

- ソフト施策
 - ・水上アクティビティの実施（市）
 - ・環境保全活動の実施（市）
 - ・親水護岸背後地の利活用の検討（市）
 - ・加茂川・中海遊覧船の新たな発着場の設定（市）
 - ・芝生広場の利活用促進（市）
 - ・街歩き周遊コースの設定と利用促進（市）
- ハード整備
 - ・親水護岸の整備（国）
 - ・棧橋等の整備（県）
 - ・遊覧船発着場整備、芝生広場の整備（市）
 - ・駐車場及び駐輪場の整備、歩道の整備（市）



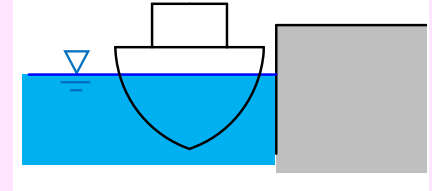
0 500m 1,000m

- ハード整備
 - ・案内看板等の整備（市）

【整備前】

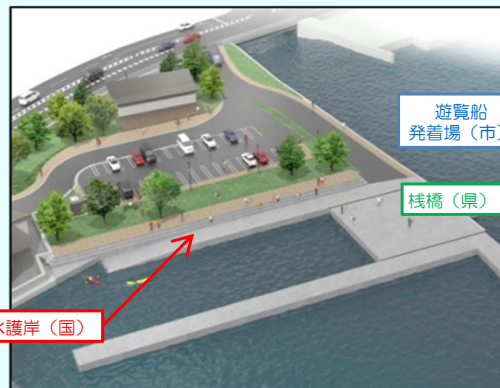


横断面図



・湖岸が直立しているため、比較的大型の漁船等しか停泊することが出来ず、限られた利用に留まっている。

【整備後（イメージ）】

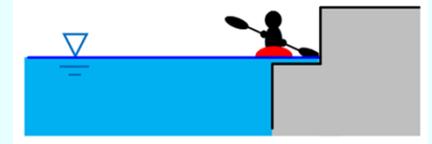


親水護岸（国）

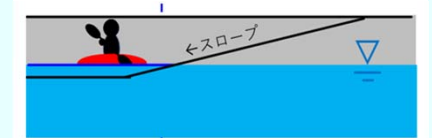
遊覧船発着場（市）

棧橋（県）

横断面図



正面図



・水面に近づきやすく、カヌーなどが発着できる親水護岸等を整備する。

8. ③木次箇所水辺整備

2019年度評価

きすき
③木次箇所水辺整備（2020年度（令和2年度）～2028年度（令和10年度）予定）

整備目的：河川管理用通路の整備や高水敷整正を行うことにより、水辺空間を効率的に巡視することができるほか、回遊性の向上や賑わい・交流の拠点となる水辺空間を創出することにより、水辺とまちとの一体的な利用が可能となる。

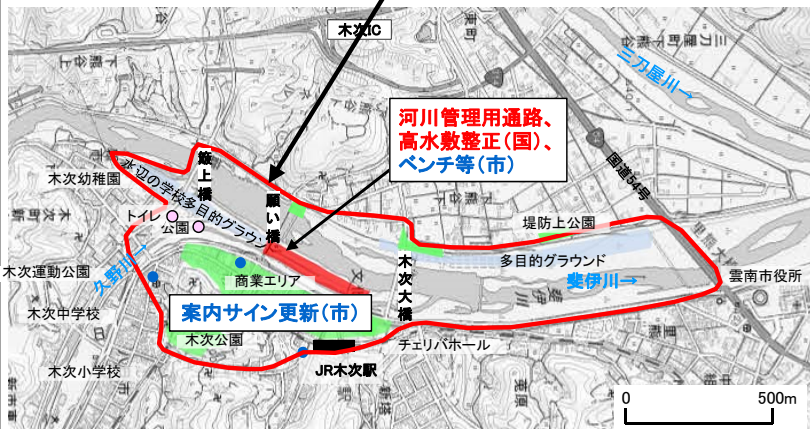
事業内容：（国）河川管理用通路、高水敷整正
（市）案内サイン・ベンチ等の設置

事業進捗の見込み：「木次地区斐伊川かわまちづくり計画（平成31年3月登録）」に基づき、市と協力して地域と連携した川づくりを進めている。国土交通省施工部分は令和2年度より着手しており、今後の事業進捗を図る上で、支障は確認されていない。



かわまちづくり計画の概要

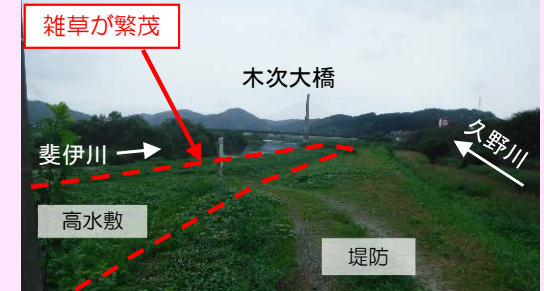
- ソフト施策
 - ・ウォーキング・ジョギングイベントの開催（市）
 - ・野外イベントの開催（市）
 - ・水上スポーツ（カナディアンカヌー、SAP）の振興（市）
 - ・環境美化活動（斐伊川一斉清掃、花いっぱい運動）の展開（市）
- ハード整備
 - ・河川管理用通路の整備（国）
 - ・高水敷整正（国）
 - ・ベンチ等の休憩場所の整備（市）
 - ・案内サインの更新（市）



【整備前】

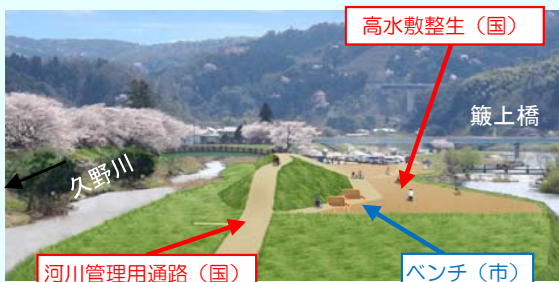


堤防や高水敷を安全に利用できない



高水敷が有効に活用されていない

【整備後（イメージ）】



・河川管理用通路等を整備し、河川内や背後地を効率的に河川巡視ができる。



・高水敷を整備し、安全に水辺利用が可能となり、地域活動や賑わいの拠点となる。

⑤ 中海・宍道湖水環境整備（2004年度（平成16年度）～2029年度（令和11年度）予定）

整備目的：沿岸域における自然の浄化機能を回復するために浅場整備を行う。また、湖底の汚濁底泥からの栄養塩溶出抑制や生物の生息環境を回復するために覆砂を行う。

整備内容：（国）浅場整備、覆砂

事業進捗の見込み：浅場整備、覆砂の施工とあわせて、現地の状況や効果についてモニタリングを実施しており、検討会において学識者からの助言も踏まえて対応していく。

<p>宍道湖の浅場整備</p> <p>■人工湖岸に波が反射するなどして水が濁り、生物がすみにくい状況のため、波浪抑制する浅場の整備を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>整備前</p>  <p>人工湖岸</p> </div> <div style="font-size: 2em; color: red;">➔</div> <div style="text-align: center;"> <p>整備後</p>  </div> </div>	<p>中海の覆砂</p> <p>■流入する汚濁負荷量が多く、汚泥が溜まりやすい環境であるため、覆砂を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>覆砂(中海)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>覆砂後の湖底</p> </div> </div>
--	--

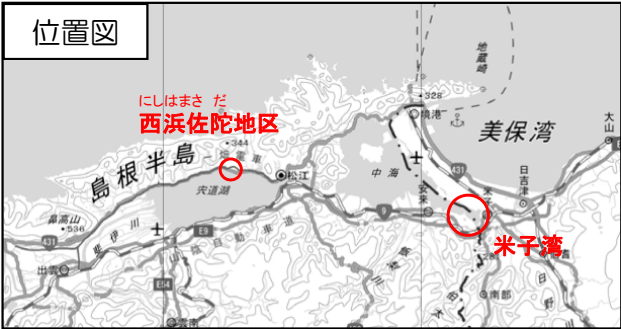
整備効果

にしはまさだ

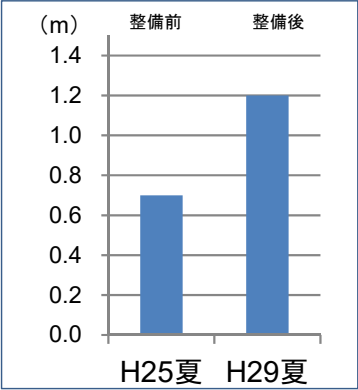
■西浜佐陀地区は、浅場整備により透明度が向上するとともに、ヤマトシジミ等が増加しており、湖の自然浄化機能が向上している。

■米子湾は、覆砂の実施により底質から栄養塩（窒素・りん）の溶出が抑制されるとともに、透明度も向上している。

位置図

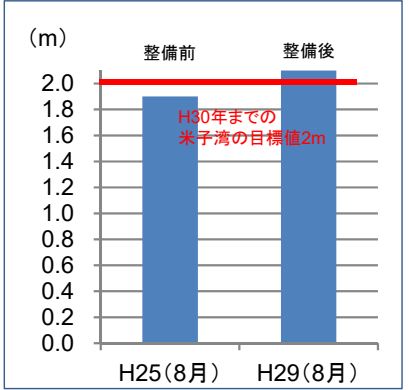


整備箇所の透明度の比較



H25夏 H29夏
透明度が0.5m増

米子湾の透明度の比較



H25(8月) H29(8月)
H30年までの米子湾の目標値2m
透明度が0.2m増

10. 費用対効果分析結果(総括表)

●費用便益比総括表

■全体事業：事業期間（2004年度（平成16年度）～
2029年度（令和11年度）予定）

- 【水辺整備】①夕日ヶ丘箇所水辺整備
②米子港箇所水辺整備
③木次箇所水辺整備
④松江市役所前箇所水辺整備
- 【水環境】⑤中海・宍道湖水環境整備

■残事業：事業期間（2021年度（令和3年度）～
2029年度（令和11年度）予定）

- 【水辺整備】①夕日ヶ丘箇所水辺整備
②米子港箇所水辺整備
③木次箇所水辺整備
④松江市役所前箇所水辺整備
- 【水環境】⑤中海・宍道湖水環境整備

斐伊川総合水系環境整備事業

金額単位：百万円

項目	再評価					
	全体事業	水環境		残事業	水環境	
		水環境	水辺整備		水環境	水辺整備
便益 (B)	36,227	27,527	8,700	8,982	1,900	7,083
便益	36,211	27,527	8,684	8,968	1,900	7,068
残存価値	16	0	16	14	0	14
費用 (C)	27,924	25,842	2,082	3,388	1,621	1,767
建設費	27,617	25,719	1,899	3,211	1,612	1,599
維持管理費	307	123	184	177	8	169
費用対便益 (B/C)	1.3	1.1	4.2	2.7	1.2	4.0

- ・社会的割引率（4%）及び治水経済デフレーターにより、現在価値化した値
- ・消費税相当分の除外が必要な項目は、税相当分を除外
- ・B/Cは小数第二位、それ以外は小数第一位で四捨五入している。
- ・合計欄は、表示桁数の関係で単純計算と一致しない場合がある。

【参考1】 前回評価時との比較

事項	時 点		備考
	前回評価（令和元年度再評価）	今回評価（令和2年度再評価）	
事業諸元 及び 事業期間	<p>【水環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中海・宍道湖水環境整備事業：実施中 2004年度（平成16年度）～2029年度（令和11年度）予定 浅場整備、覆砂 	<p>【水環境】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中海・宍道湖水環境整備事業：実施中 2004年度（平成16年度）～2029年度（令和11年度）予定 浅場整備、覆砂 	松江市役所前箇所を追加
	<p>【水辺整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夕日ヶ丘箇所水辺整備：実施中 2016年度（平成28年度）～2023年度（令和5年度）予定 親水護岸、河川管理用通路、階段 ・米子港箇所水辺整備：計画中 2020年度（令和2年度）～2028年度（令和10年度）予定 （国）親水護岸 （県）棧橋（市）遊覧船発着場 ・木次箇所水辺整備：計画中 2020年度（令和2年度）～2028年度（令和10年度）予定 （国）河川管理用通路、高水敷整正 （市）案内サイン・ベンチ等の設置 	<p>【水辺整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夕日ヶ丘箇所水辺整備：実施中 2016年度（平成28年度）～2023年度（令和5年度）予定 親水護岸、河川管理用通路、階段 ・米子港箇所水辺整備：実施中 2020年度（令和2年度）～2028年度（令和10年度）予定 （国）親水護岸 （県）棧橋（市）遊覧船発着場 ・木次箇所水辺整備：実施中 2020年度（令和2年度）～2028年度（令和10年度）予定 （国）河川管理用通路、高水敷整正 （市）案内サイン・ベンチ等の設置 ・松江市役所前箇所水辺整備：計画中 2021年度（令和3年度）～2029年度（令和11年度）予定 （国）親水護岸、河川管理用通路 （市）公園整備 	
全体事業費	182.4億円	192.8億円	
総便益（B）	312.0億円	362.3億円	
総費用（C）	251.7億円	279.2億円	
費用便益比 （B/C）	1.2	1.3	

- 参考として残事業費、残工期、便益を個別に±10%変動させて、費用便益比（B/C）を算定し、感度分析を行った。

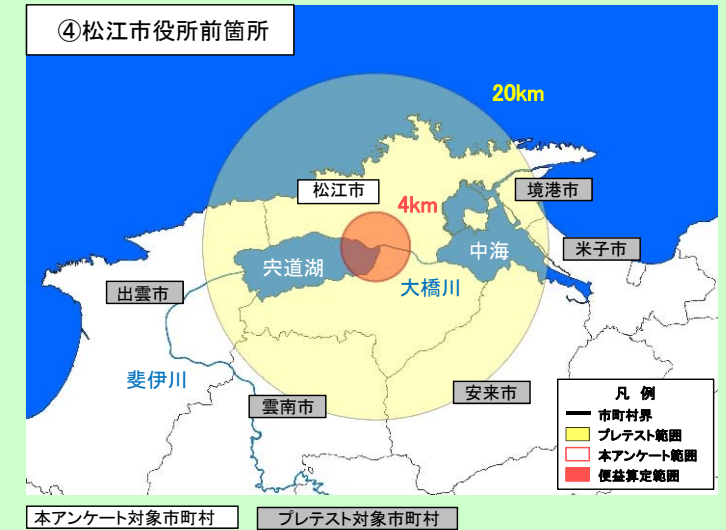
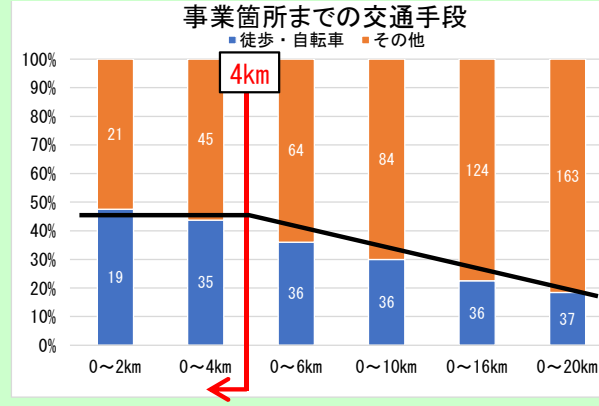
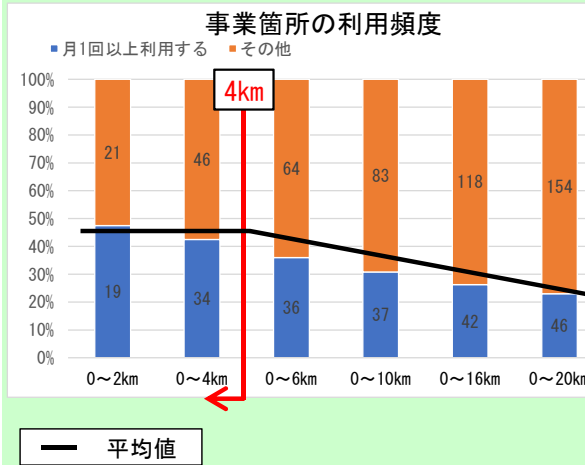
＜B/C算定ケース（基本1ケース、感度分析6ケース）＞

	基本	残事業費		残工期		便益	
		+10%	-10%	+10%	-10%	+10%	-10%
全体事業費用 便益比(B/C)	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.4	1.2
残事業費用 便益比(B/C)	2.7	2.4	2.9	2.6	2.7	2.9	2.4

● CVM (住民アンケートによる支払意思額の調査)

■ 調査範囲(アンケート配布範囲=便益集計範囲)の設定

・R2に実施したCVMアンケートプレテストにおいて、事業箇所までの利用頻度、及び、事業箇所までの交通手段の徒歩・自転車割合は、4km以降で低下傾向が見られた。

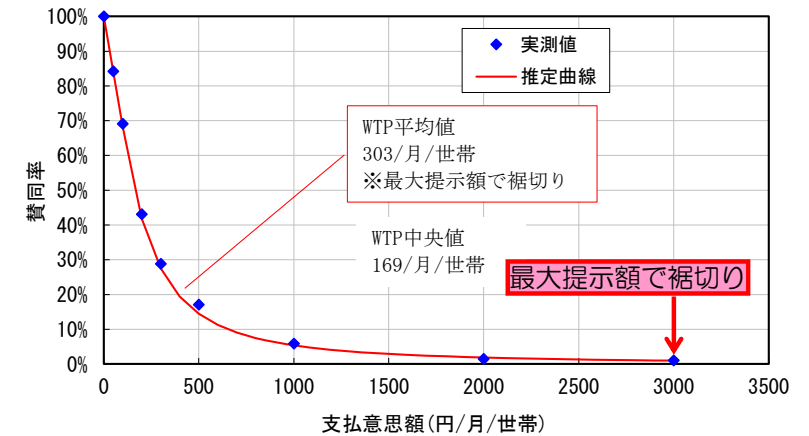


【アンケート回収率・有効回答率】

	松江市役所前箇所 水辺整備
目標標本数	382
配布数	2,000
回収数	883
回収率	44.2%
有効回答数	615
有効回答率	69.6%

【支払意思額(全体事業)】

	今回評価 (2020年度)
評価手法	CVM
支払意思額 (全体事業)	303 円/月/世帯数
受益世帯数	54,974世帯 (H27国勢調査)
年便益	199.9百万円



(アンケート結果) ④ 【水辺整備】松江市役所前箇所水辺整備

【全体事業】支払意思額 (WTP) = 303円/月/世帯、受益世帯数 54,974世帯、
年便益 199.9百万円/年 (=303円/月/世帯×12ヶ月×54,974世帯)

斐伊川総合水系環境整備事業

〔鳥取県への意見照会と回答〕

〔島根県への意見照会と回答〕

国中整企画第59号
国中整港計第27号
令和2年11月19日

鳥取県知事 様

国土交通省
中国地方整備局長
(公印省略)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について (依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を確保するため、中国地方整備局事業評価監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、令和2年12月18日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

(別紙)

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
斐伊川総合水系環境整備事業	継続	
鳥取港千代地区防波堤整備事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業評価監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成します。

■ご意見の送付期限：令和2年12月15日（火）までをお願いします。

※様式自由

■送付先・お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

建設専門官 桐谷（内線：3153）

主査 武嶋（内線：3186）

TEL：082-221-9231（代表）

FAX：082-511-6359

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館

第202000222464号
令和2年12月7日

国土交通省中国地方整備局長 様

鳥取県知事
(公印省略)

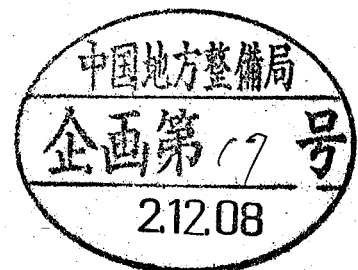
中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る意見
照会について(回答)

令和2年11月19日付国中整企画第59号及び国中整港計第27号で照会のあった事業再評価に係る対応方針（原案）については、異存ありません。

なお、事業の執行に際しては、別紙付帯意見に留意いただくとともに、できる限り経費の縮減を図られるようお願いします。

(担当 河川課 企画担当 安陪、中村 電話 0857-26-7374

空港港湾課 港湾担当 廣田、沖田 電話 0857-26-7380)



(別紙)

事業執行に関しての付帯意見

事業名	付帯意見	備考
斐伊川総合水系環境整備事業	<p>(1) 水辺整備 米子港周辺においては、新たな水上アクティビティの拠点の創出を図るため、ボートやカヌー等の水上スポーツやイベント等で水面利用が容易となるよう、水辺整備事業の推進と早期の供用開始をお願いします。</p> <p>(2) 水環境 中海では、中海湖沼水質保全計画を策定し、関係機関が連携しながら中海の水質浄化に向けた取組を実施しているところですが、一部項目においては、計画で定めた水質目標が達成できていないことから、より一層の負荷軽減や汚濁原因の解明等のために、現地の状況や効果についてのモニタリングを継続するとともに、引き続き水環境整備事業の推進をお願いします。</p>	
鳥取港千代地区防波堤整備事業	特になし	

国中整企画第59号
国中整港計第27号
令和2年11月19日

島根県知事 様

国土交通省
中国地方整備局長
(公印省略)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針
(原案)の作成に係る意見照会について (依頼)

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を確保するため、中国地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、令和2年12月18日に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

(別紙)

事業名	「対応方針（原案）」案※	備考
斐伊川総合水系環境整備事業	継続	
一般国道9号 三隅・益田道路	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業評価監視委員会」へ諮る対応方針（原案）を作成します。

■ご意見の送付期限 : 令和2年12月15日（火）までをお願いします。

※様式自由

■送付先・お問い合わせ先

中国地方整備局 企画部企画課

建設専門官 桐谷 （内線：3153）

主査 武嶋 （内線：3186）

TEL：082-221-9231（代表）

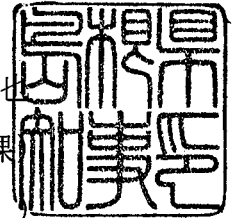
FAX：082-511-6359

〒730-8530 広島市中区上八丁堀6-30 広島合同庁舎2号館

高推第43号
令和2年12月11日

国土交通省
中国地方整備局長 小平 卓 様

島根県知事 丸山 達也
(土木部高速道路推進課)
(土木部河川課)



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成
に係る意見照会について（回答）

令和2年11月19日付け国中整企画第59号、国中整港計第27号で意見照会の
あった下記事業について、継続するとの対応方針（原案）については、別紙のとおり
異存ありません。

記

- ・斐伊川総合水系環境整備事業
- ・一般国道9号 三隅・益田道路



以上

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見

【河川事業】

事業名	斐伊川総合水系環境整備事業
対応方針に対する意見 (対応方針:継続)	妥当である
<p>(意見)</p> <p>今回、追加となる『松江市役所前箇所水辺整備』事業では、『宍道湖・大橋川かわまちづくり計画』に基づき、親水護岸や管理用通路などが整備されることとなり、既に完成している『岸公園』や『白潟公園』とともに、良好な水辺空間の創造に寄与するものと期待される。</p> <p>護岸背後においては松江市が既設の公園を再整備し、大橋川河川改修事業で整備される護岸や広場、管理用道路と相まって、宍道湖東岸域の回遊性の向上や新たな賑わいの創出も期待できる。</p> <p>事業の推進に当たっては、国・県・市が知恵を出し合い、情緒豊かな宍道湖の景色を誰もが楽しめるような施設とし、早期完成を目指していただきたい。</p>	

(別紙)

中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）案に対する意見

【道路事業】

事業名	一般国道9号 三隅・益田道路
対応方針に対する意見 (対応方針:継続)	妥当である
<p>(意見)</p> <p>一般国道9号三隅・益田道路は、地域産業の活性化や地域間交流の促進に大きく寄与するとともに、国道9号の事故・災害時の代替道路機能の確保、救急医療活動の支援に必要不可欠な路線であり、既に公表されている令和7年度の確実な全線開通を図って頂くとともに、完成した区間から部分的に開通を図って頂きたい。</p> <p>また、山陰道の優先整備区間となっている「小浜～田万川間」及び「大井～萩間」の令和3年度の新規事業化を行うとともに、事業中区間の事業促進を図り、早期に山陰道の全線開通を図って頂きたい。</p>	